

まちの話 だい

3月2日 | 温かい看護を大切に

市立看護専門学校で平成26年度の卒業式が行われ、34人の生徒が看護の道へ巣立ちました。

村田校長や在校生を前に、卒業生代表の永井さんは「常に向上心を胸に、患者さんやそのご家族に信頼される温かい看護を大切にしたい」と力強く誓いました。卒業生の多くは、市立島田市民病院に就職。地域医療の一翼を担うプロとして、今後の活躍が期待されます。



3月3日 | お手製の等身大ひな人形

第三保育園で、女の子の健やかな成長を祈る「ひな祭り」が行われました。

園児たちは、最初にひな祭りについて学んでから、ひな祭りの歌を合唱しました。最後に年長児がお手製の衣装を着て、おひな様に扮して登場。すると年下の子たちからは、歓声が上がりました。一方、注目を集めたリアルおひな様たちは、少し誇らしげな様子でした。

3月9日 | 入進学を祝う合格ご(う)かく駅

大井川鐵道の五和駅に、五和小6年生の卒業制作「私の信念・夢の木札」が設置され、児童と地元関係者による除幕式が行われました。

木札には「笑顔」「努力」など、児童の信念や夢が書かれています。企画した金谷コミュニティ委員会の鈴木副会長は「悲しいことやつらいことがあったら、この駅に来てほしい」と子どもたちの門出にエールを贈りました。





3月28日 | そっと告げる春の訪れ

牧之原公園のカタクリが、紅紫色の可憐な花を今年も咲かせました。大井川流域での自生地は珍しく、市の天然記念物に指定されています。「島田市金谷野の花の会」の皆さんにご協力をいただき、手厚く保護されているカタクリ。東側斜面の約2,100㎡に約1万株が自生しています。恥ずかしそうにうつむく愛らしい姿は、訪れた見物客にそっと春を告げていました。

3月14日 | 若者の表現力に感動

磨き抜いた技を披露する「シマダ・ミュージック・フェスティバル2015 ダンス&パフォーマンスコンテスト」が、プラザおおりで開催されました。

若者の支援と文化活動の活性化を図ることが、同コンテストの目的。和太鼓やチアリーディング、躍動感あふれるダンスなどが披露され、どの出場者も会場を大きく沸かせました。



3月22日 | 入賞作品を書で披露

愛情あふれる悪口を募集した「第11回愛するあなたへの悪口コンテスト」の表彰式が、おび通り南ステージで行われました。

全国からの応募数は、一般の部に4,673点、ジュニアの部に146点。金谷高校書道部による書道パフォーマンスで入賞作品が披露され、大賞にはペンネーム愛飢え夫さん（名古屋市）の作品が選ばれました。